



sure
for All
Children

東京学芸大学こどもの学び困難支援センター

第18回 公開研究会

テーマ

「子どもの学ぶ権利と多様な学びのこれから」

【話者】 喜多明人先生（早稲田大学 名誉教授）

案内

【日付】 2024年7月26日(金)

【時間】 17:00~19:00

【場所】 オンライン

参加費無料・事前申込必要

どなたでも大歓迎です！
参加申し込みはQRから→



概要

「子どもにとって大切なのはどこで学ぶかではない。何を学ぶかである」20年以上前に、学校復帰を求めない町営フリースペースを設置した高根沢町長の言葉である。学校に行くか行かないかという発想（＝不登校）ではなく、子どもの学ぶ権利を第一にということだ。どの子どもも包摂できる学校改革を進めれば不登校はなくなる、と語っているうちに、小中高校合わせて30万人の子どもが不登校になってしまった。30万の子どもの学ぶ権利をどう保障すべきか。文科省は昨年3月の通知「誰一人取り残さない学びの保障に向けた不登校対策について」で、「学びの多様化学校」（旧・不登校特例校）300校の設置を打ち出した。学校外の多様な学びのあり方を問いたい。

ご参加に際しまして、配慮の必要な方は、
2週間前までにメールでお知らせいただきます
ようお願いいたします。

お気軽にお問い合わせください。

✉ info@suretgu.com